

中頓別町におけるヒメシカシラミバエの記録

佐藤雅彦¹⁾・貝塚徳之²⁾

¹⁾ 〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志 利尻町立博物館

²⁾ 〒098-5563 北海道枝幸郡中頓別町字藤井 15

First Finding of Deer Ked, *Lipoptena fortisetosa*, from Nakatonbetsu, Northern Hokkaido

Masahiko SATO¹⁾ and Noriyuki KATSUKA²⁾

¹⁾Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

²⁾Fujii, Nakatonbetsu, Hokkaido, 098-5563 Japan

Abstract. Twenty four males and twenty nine females of the deer ked (Diptera: Hippoboscidae), *Lipoptena fortisetosa*, were collected from ten Hokkaido Sika Deer, *Cervus nippon yesoensis*, shot in Nakatonbetsu, northern Hokkaido, Japan. This is the first record of deer ked in northern Hokkaido.

はじめに

シラミバエ科に属するシカシラミバエ属 *Lipoptena* はこれまで国内から3種 (ヒメシカシラミバエ *L. fortisetosa*, ニッポンシカシラミバエ *L. japonica*, クロシカシラミバエ *L. sikae*) が知られ (茂木, 2014), 主たる寄主はシカ類である (園部, 1979; Yamauchi *et al.*, 2009). これらの種は従来本州からの記録のみであったが, 2000年に北海道日高郡平取町から初めてヒメシカシラミバエが報告され (福本ほか, 2000), その後も幌泉郡えりも町, 苫小牧市 (Yamauchi *et al.*, 2009), 静内郡静内町 (山内ほか, 2013) から同種の記録が続いた. しかし, これまで北海道北部から *Lipoptena* 属が記録されたことはなかった. 筆者らは, 枝幸郡中頓別町内で個体数調整を目的としたエゾシカの駆除個体よりヒメシカシラミバエを確認したので, ここに報告する. なお, エゾシカの駆除は, 北海道より許可を受けて行われた (宗谷総合振興局, 第180-9号).

報告にあたり文献等のご教示をいただいた山内健生氏 (兵庫県立大学), 道内各地からの比較標本をご提供いただいた梅沢俊氏, 梅沢節子氏 (札幌市) に心から感謝申し上げる.

調査方法

シカシラミバエ類の探査を行ったエゾシカは, 2015年8月20日から11月15日までに中頓別町内において駆除された合計20個体 (Fig. 2, Table 1) である. オスの場合は角の形態などからおおよその年齢を推定し, 当年生まれから4才以上の成獣まで12個体, メスは8個体が対象となった.

着弾直後より15分以内に現場に到着した後, エゾシカの腹側のうち, 特に前脚および後脚の両脇, 股間を目視にて1~3分間探索し, シラミバエ類の採集を行った. 駆除されたエゾシカは迅速な処理が必要となることも多く, 探索時間内に発見された全てのシラミバエ類が採集されなかったこともあった. また, 有害鳥獣駆除の証拠として尾部先端の切断がすべての駆除個体で行われたが, 処理後, 切断された尾部からシラミバエ類が発見された場合にはこれらもサンプルに含めた.

採集されたシラミバエ類は70%エタノールにて保存後, 実体顕微鏡にて同定が行われた.

結果と考察

探索が行われたエゾシカ20個体中, 7個体のオ

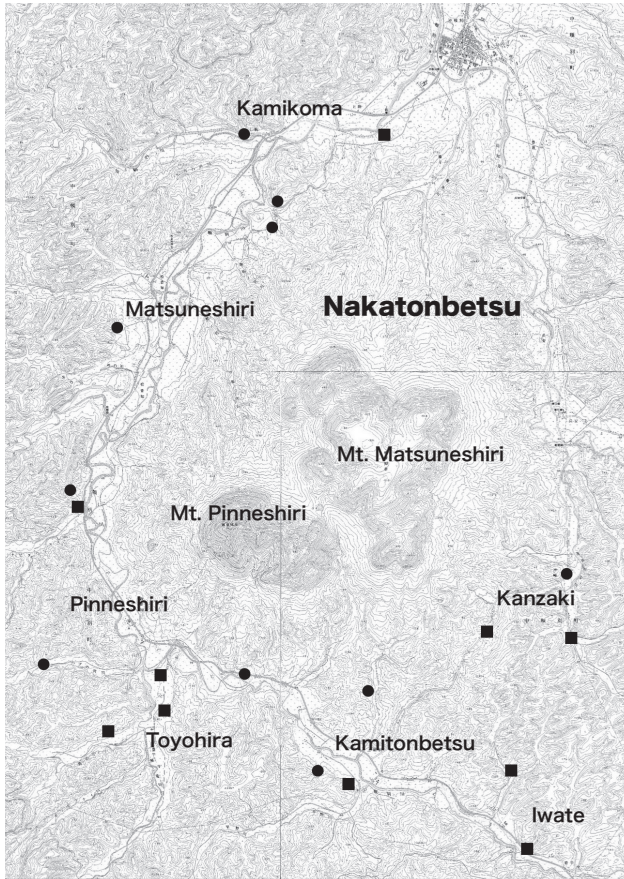


Figure 1. Location map of sampling site for Hokkaido sika deers in Nakatonbetsu-cho. Black squares show the location found deer kid. No deer kid found at the location shown as a black circle. The base map is Digital Map 25000 (Map Image, "Wakkanai") issued by the GSI.

スと3個体のメスからシラミバエ類が発見され、中頓別町内に生息するエゾシカへのシラミバエ類の寄生は、比較的稀な事例ではないことが明らかとなった。

採集されたシラミバエ類はオス24個体、メス29個体の合計53個体となり、すべて無翅型であった (Fig. 2).

頭部と胸部の長さが平均1.62mm (n=5) と小さく、胸部背面などに平らな歯状突起が確認されないこと (Mogi, 1975), 中胸背板上の剛毛数は片側約13.5-18(n=5) であり、小盾板の剛毛もほぼ3対である、などの特徴から (Maa, 1965; 福本ほか, 2000), 採集されたシラミバエ類はヒメシカシラミバエ *L. fortisetosa* と同定された。同定にあたり、利尻町立博物館所蔵の新日高町、苫小牧市、登別市産のヒメシカシラミバエ15個体とも比較を行ったので、計測値や中胸背の剛毛配列を表2に示した。

9月23日の探索では交尾中と思われる個体が採集された。また、標本の一部の雌からは、紡錘形をした大きく白い幼虫が腹部内に視認できる個体もみられ、繁

Table 1. Captured host deers and deer kid found on their body

Date	Place name	Location	Host			Number and sex of captured flies
			Sex	Body length (cm)	Age	
2015.viii.20	Iwate	N44° 51' 11" E142° 18' 00"	♀	110	3-4?	5 ♀
2015.ix.23	Toyohira	N44° 51' 34" E142° 12' 24"	♂	60	0	1 ♂ 1 ♀
2015.ix.27	Kanzaki	N44° 52' 30" E142° 18' 50"	♀	90	?	8 ♂ 9 ♀
2015.ix.28	Pinneshiri	N44° 53' 46" E142° 11' 59"	♂	100	1	2 ♂ 2 ♀
2015.ix.28	Pinneshiri	N44° 52' 13" E142° 11' 30"	♀	70	0	-
2015.x.7	Kamitonbetsu	N44° 51' 58" E142° 16' 00"	♂	90	1	-
2015.x.7	Toyohira	N44° 52' 07" E142° 13' 08"	♂	100	1	3 ♂ 3 ♀
2015.x.10	Kamikoma	N44° 57' 26" E142° 16' 14"	♂	120-130	>4	4 ♂ 2 ♀
2015.x.12	Pinneshiri	N44° 53' 56" E142° 11' 53"	♀	90	-	-
2015.x.12	Kamitonbetsu	N44° 51' 10" E142° 15' 19"	♀	100	-	-
2015.x.13	Kanzaki	N44° 52' 33" E142° 17' 40"	♂	90	1	1 ♂
2015.x.14	Toyohira	N44° 51' 47" E142° 13' 11"	♂	100	1	1 ♂ 2 ♀
2015.x.17	Kamitonbetsu	N44° 51' 03" E142° 15' 45"	♂	100	1	2 ♂ 5 ♀
2015.x.21	Iwate	N44° 50' 25" E142° 18' 13"	♀	100	-	2 ♂
2015.x.25	Toyohira	N44° 52' 08" E142° 14' 17"	♀	90	-	-
2015.x.29	Pinneshiri	N44° 57' 27" E142° 14' 17"	♂	100	2	-
2015.x.31	Matsuneshiri	N44° 56' 31" E142° 14' 41"	♂	70	-	-
2015.xi.5	Matsuneshiri	N44° 56' 47" E142° 14' 44"	♀	90	-	-
2015.xi.8	Matsuneshiri	N44° 55' 32" E142° 12' 32"	♂	110	>4	-
2015.xi.15	Kanzaki	N44° 53' 07" E142° 18' 45"	♂	100	>4	-

Table 2. Measurement and mesonotal chaetotaxy of *L. fortisetosa* deposited in Rishiri Town Museum

Specimen No. (RTMeBb)	Locality	Date	Collector	Sex	Number	HT (mm)	Mesonotal Chaetotaxy*					
							HU	AC	LC	PL	PS	ST
1236-1243	Shizunai, Shin-Hidaka-cho, Hokkaido	2012.vii.26	Sh. Umezawa & Se. Umezawa	f	8	1.4-1.6 (1.55)	3 (3)	3-5 (3.75)	2-5 (3.44)	2 (2)	2 (2)	6 (6)
1652-1656	Iwate, Nakatonbetsu-cho, Hokkaido	2015.viii.20	N. Kaizuka	f	5	1.5-1.7 (1.72)	3-4 (3.2)	3-4 (3.8)	2-6 (3.9)	2-3 (2.2)	2-4 (2.4)	6-7 (6.4)
1231-1235	Shizunai, Shin-Hidaka-cho, Hokkaido	2012.vii.26	Sh. Umezawa & Se. Umezawa	m	5	1.5-1.7 (1.6)	3-4 (3.2)	3-6 (4.6)	2-6 (4.3)	2-3 (2.3)	2-3 (2.2)	6-8 (6.4)
1551	Tomakomai, Hokkaido	2012.viii.22	Sh. Umezawa	f	1	1.6	3, 3	4, 4	4, 6	2, 2	2, 2	6
1552	Kouzanz-cho, Noboribetsu, Hokkaido	2012.x.2	Sh. Umezawa	m	1	1.5	3, 3	3, 4	3, 5	2, 2	2, 2	6

() = average

* One-sided number exclusive of scutellars.

HT, length of head & thorax (mm); HU, humerals; AC, acrostichals, LC, laterocentrals; PL, postalars; PS, prescutellars; ST, scutellars.



Figure 2. Female of *Lipoptena fortisetosa*. Nakatonbetsu. August 20, 2015.

殖が当地域でも行われていることが確認された。

当地域における本種の季節消長については、調査開始時期が8月下旬と遅かったことや、定量的な採集方法ができなかったため、不明なままである。しかし、9月27日には同一の寄主から17個体のシラミバエが採集されたほか、エゾシカ体表上にはさらに30個体以上が確認され、全サンプル中では最も高い寄生状況がみられたことより、成虫の活動は少なくとも9月までは活発に行われていると想像された。一方、調査期間中、最後にヒメシカシラミバエ

エが確認された日は10月21日であり、それ以降の発見はないため、10月下旬が成虫の終息期にあたると考えられた。園部(1979)によると、宮城県での調査では季節により種ごとの発生ピークが異なることも示唆されており、今後は一年を通じた採集を試みるとともに、別種の分布の有無や、道北各地における分布状況などの調査を行うことで、本地域および周辺地域におけるシカシラミバエ類の生息状況をさらに解明していきたい。

参考文献

- 福本真一郎・譽田顕・新山雅美・佐々木均・奥田敏・茂木幹義・高橋健一, 2000. エゾシカから検出されたシカシラミバエ *Lipoptena fortisetosa* Maa, 1965 (Diptera: Hippoboscidae). 衛生動物, 51: 227-230.
- 水主川剛賢・石名坂豪・増田泰・小川人士・高須恵美・森昇子・萩原克郎・浅川満彦, 2013. 知床半島を中心に生息するエゾシカ *Cervus nippon yesoensis* から見出された外部寄生虫性昆虫2種の記録. 知床博物館研究報告, (35): 11-14.
- Maa T. C., 1965. A synopsis of the Lipopteninae. *J. Med. Entomol*, 2: 233-248.
- Mogi M., 1975. A new species of *Lipoptena* (Diptera, Hippoboscidae) from the Japanese deer. *Kontyû*, 43(3): 387-392.
- 茂木幹義, 2014. シラミバエ科, コウモリバエ科, クモバエ科. 日本昆虫目録編集委員会(編), 日

- 本昆虫目録第 8 卷双翅目：743-751. 權歌書房.
福岡.
- 園部力雄, 1979. 宮城県金華山島における 2 種のシ
カシラミバエ (双翅目：シラミバエ科) の生態.
昆虫, 47: 593-598.
- 山内健生・高野 愛・近藤誠司・秦 寛・八代田千
鶴・鈴木正嗣, 2013. 北海道南部のエゾシカから
得たヒメシカシラミバエ. 日本生物地理学会会
報, 68: 103-105.
- Yamauchi T., M. Tsurumi & N. Kataoka, 2009. Dis-
tributional records of *Lipoptena* species (Diptera:
Hippoboscidae) in Japan and Jeju-do, Korea.
Med. Entomol. Zool., 60: 131-133.